

名 譽 会 員



藤 本 一 郎 君

君は昭和7年東京帝国大学工学部冶金学科を卒業，同年4月(株)川崎造船所（昭和14年12月川崎重工業(株)社名変更）に入社，昭和25年に川崎製鉄(株)が川崎重工業(株)から分離した際は葺合工場副工場長の職にあり，以後昭和28年取締役，32年6月常務取締役，37年12月専務取締役，39年6月副社長を歴任，41年7月取締役社長に就任現在にいたっている。

この間同社発足後間もなく開始された千葉製鉄所の建設に際しては陣頭指揮をとり，昭和40年には粗鋼年産600万トンの製鉄所を完成した。これは新らしい時代における臨海製鉄所の先駆かつ範をなすもので，内外から高く評価されまた，わが国鉄鋼業が飛躍的發展をとげる礎石として多大の貢献をしている。

さらに，昭和36年からは水島製鉄所の建設に着手，現在粗鋼年産800万トンの体制を確立するとともに，最終1200万トンの製鉄所の完成を目指し，最高責任者として卓越した指導力を発揮している。

本会に関しては昭和43年から2年間会長として在任し，財源基盤の弱かつた基礎研究を中心にその研究資金確保を図り，研究活動体制の確立を実現したほか，鉄鋼科学技術国際会議開催の推進を積極的に行ない，昭和45年9月の同会議を成功に導びき，かつ国際的な技術交流にも力を注いだ。さらに鉄鋼の学術・技術の興隆発展のための委員会設置ならびに拡充などを活発に行ない，協会発展に尽力された。

名 譽 会 員



Charles B. Baker

米国イリノイ州 Kenilworth に生れ、1936 年シカゴ大学を卒業、1938 年法学士号を受けた。

1938 年イリノイ州で法律事務に従事、4 年間シカゴ地区の弁護士、1942 年ニューヨークで U. S. Steel の小会社 Universal Atlas Cement 会社に入社、法務部長、副社長を歴任、1954 年1月社長に就任した。1954 年以降シカゴのセメント協会の理事、1962～63 年同会会長を勤めた。

1963 年1月1日付で U. S. Steel の国際問題担当 Administrative 副社長に任命され 1968 年国際鉄鋼協会 (IISI) に参加するまでその職に留つた。

1967 年7月 IISI がブラッセルで結成されたときこの組織の臨時事務局長に任ぜられ 1968 年1月1日付で同協会事務局長に任命された。

名 譽 会 員



Lucien Coche

1918年3月9日パリに生れ 1936～1938年 Ecole Polytechnique に学び1938～1941年フランス陸軍に勤務 1943～1945年 鉱山局, 1945～1949年工業省鉄鋼局, 1949年フランス鉄鋼研究所 (IRSID) に参加, 1949～1953年鉄鉱石選鉱焼結部長となり IRSID として最初の Saules のパイロットプラントの建設指導を行なつた。

1953年から 65年までは他の工業団体の種々な業務に従事, 1965～1969年は Acierieset Tréfilerie de Neuves-Maisons の社長となり, 1969年1月に再び IRSID に戻り理事長となつた。

主な業績としては 1950年に Lorraine 鉄鉱の鉱物学的組成や種々な選鉱法に対する挙動などの系統的研究を開始し同時に焼結や高炉操業の数式モデルの研究を初めたことである。

その後西サハラの Gara Djebilet 鉱床の調査を行なつた。ゴム製造やプラスチックの分野でも研究を行ない Neuves Maisons ではプレストレストコンクリート用鋼材の研究を行なつた。

IRSID 理事長としては人材の確保と研究費の獲得など研究所の運営に尽力すると共に連続製鋼のような重要な問題に直接指示を与えている。

名 譽 会 員



Morris Cohen

1933年マサチューセッツ工科大学 (MIT) 卒業, 引続き同大学に留つて 1936年講師, 1937年助教授
1946年物理冶金教授を歴任, 1962年材料科学 Ford 教授となり現在に至つている。

1945年および 1949年 ASM Howe 賞を共同受領, 1947年 ASM Boston 支部 Sauveur 記念賞,
1950年 AIME Institute of Metals 賞, 1952年インド金属学会 Kamani 賞, 1953年 AIME の Ma-
thewson 金牌, 1959年フランクリン協会 Clamer 賞, 1968年 ASM 金牌, 1970年日本金属学会金牌
を受けている。また ASM 名誉会員, AIME 名誉会員に推挙されている。

1953年 AIME の Institute of Metals 部会長, 1954年 ASM Boston 支部長, 1960~62年 ASM 評
議員, 1968~69年 ASM 副会長, 1969~70年 ASM 会長を勤めた。

専門活動分野は材料科学, 物理冶金, 固相の拡散, 熱力学, 相変態, 強化機構および金属の機械的挙
動である。

名 譽 会 員



Angel Cervini

1965年にヴェネズエラ代表として ILAFA 理事に選出され、1970年に同会長に選出され現在に至っている。この間、ラテンアメリカ諸国のかかえる難問を卓越した手腕で処理し、ILAFAを今日の発展に導いた最大の功労者である。これは氏の国際的信望、高い識見ならびに人徳によるものである。

氏はヴェネズエラにおいて鉄鋼事業を経営するかたわら、金融、農業、食品、建設等の事業にも役員として、また同国の経済審議会委員をはじめ諸委員に就任するなど極めて精力的な活動をしている。

また我が国鉄鋼業にも深い理解をしめし、ヴェネズエラをはじめ ILAFA 加盟国との友好に努力されている。

氏はアメリカ鉄鋼協会名誉会員に選出されている。